

ま え が き

横浜の川や海は、下水道が整備されたことに加えて、工場・事業場の公害防止の努力が定着したことを背景に一時期に比べきれいになり、魚などが戻ってきています。一方、市民生活も質の高い快適な環境を求める意識が高まっており、市内各地では、魚の放流や川の清掃など水辺に関連した催しが繰り広げられており、身のまわりの生活環境を楽しむ傾向が強くなってきています。

本市では「魚がすみ釣りや水遊びのたのしめる海や川を市民の手に取りもどす」ことを水質環境目標に定めています。この目標を達成するための一環として、市民の方々に生物を通して川や海の水質汚濁の現状を理解していただき、又、それをもとに水質浄化に対する関心を深めていただくことを願って、昭和49年度から生物相調査を行い、今回はその第4回目となります。

本調査は、市内の身近な生物を調査・研究し、活躍されている諸先生方を中心に御参加いただいた「横浜市内生物相調査会」に委託調査したものと及び、本市公害研究所で実施したものであります。

本報告書は、第一部には、横浜の川や海の概況を述べるとともに上記調査会、公害研究所の調査結果を総合的にまとめ、第二部には、各生物調査項目ごとに詳細な調査結果を専門的な分野から理解して頂くために、諸先生方の調査結果をそのまま記述したものであります。この報告書が読まれ、横浜市内の川や海における生物相や生物と水質の関係など環境について考えていただけることを願ってやみません。

なお、本調査にあたってご協力いただいた調査会の先生方には深甚の謝意を表する次第であります。

昭和 61 年 3 月 20 日

横浜市公害対策局長

猿 田 勝 美

横浜市内生物相調査会 構成メンバー

(昭和59年度現在)

氏 名	所 属	調 査 項 目
大野 通胤 (会長)	モルフォ生物同好会	海の付着動物
小林 紀雄	旭技術研究所	河川の底生動物
金田 彰二	日本工学院専門学校	"
村上 雄秀	横浜国立大学環境科学センター	河辺植生・沈水植物
工藤 孝浩	東京水産大学水産学部	海域の魚類
鴨川 宗洋	"	"
伊東 俊弘	"	"
桑原 連	東京大学農学部	海域の底生動物
鳥海 三郎	横浜市立東高等学校	海域のプランクトン
井上 勲	筑波大学生物学系	" "
高橋 祐次	観音崎自然博物館	海岸動物
和泉 良司	横浜市立桜台小学校 (横浜市小学校生物教材開発研究会)	アンケート調査

目 次

第一部 横浜市における生物相調査概要

I 調査項目及び調査方法	1
II 横浜市内の川や海の概況	12
III 生物相調査結果の概要	16
IV 川や海の生物からみた水質汚濁状況	21

第二部 各生物相調査結果

I 河 川	
1 横浜市内河川の水質環境調査 (公害研究所)	37
2 横浜市内河川の魚類相 (公害研究所)	57
3 横浜市河川の底生動物相	
3-1 底生動物相 (金田彰二, 小林紀雄, 公害研究所)	85
3-2 コカゲロウおよびユスリカ幼虫の分布とその特徴 (小林紀雄, 金田彰二, 公害研究所)	109
4 横浜市内の河辺植生 (村上雄秀)	125
5 横浜市内河川の沈水植物 (村上雄秀, 公害研究所)	151
6 横浜市内河川の付着藻類 (公害研究所)	155
II 海 域	
1 横浜市沿岸域の魚類相 (工藤孝浩, 鴨川宗洋, 伊藤俊弘)	181
2 横浜市沿岸域の底生動物相 (桑原 連)	227
3 横浜市沿岸域の海岸動物相 (高橋祐次)	251
4 横浜市沿岸域のプランクトン相	
4-1 プランクトン相 (烏海三郎)	273
4-2 微細藻類 (井上 勲)	291
5 横浜港侵漬域の付着動物相 (大野通胤)	299
III アンケート調査 (和泉良司)	325